

2.4 出典

2.1 ~ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。(掲載順に列挙)

2.1 論文・技術報告

- 1) 飯塚康雄・舟久保敏(2018), 事例にみる街路樹の点検・診断の現状, 樹木医学研究, vol.22No.2 : 93-94
- 2) 益子美由希他(2018), Site fidelity in lineages of mixed-species heron colonies, Waterbirds41(4) : 355-365

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 3) 飯塚康雄・舟久保敏(2018), 全国における街路樹の現況と推移, 樹木医学会第23回大会 講演要旨集
- 4) 益子美由希他(2018), Site fidelity in lineages of mixed-species heron colonies, 42nd Annual Meeting of the Waterbird Society Program Booklet : 33
- 5) 益子美由希(2018), Resolving human-bird conflict in urban areas in Japan, 27th International Ornithological Congress Abstract : 282
- 6) 益子美由希(2018), 鷺山との適度な距離とは, 日本鳥学会 2018 年度大会講演要旨集:84
- 7) 益子美由希(2018), 都市の生物多様性の確保を目的としたモニタリングとその活用手法に関する調査研究, 第16回環境研究シンポジウム : 57
- 8) 益子美由希・守谷修・舟久保敏他(2019), 都市域の緑地の量・質・配置と生物多様性の関係, 日本生態学会第66回全国大会(2019年3月、神戸) 講演要旨サイト
<http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/66/P2-249.html> : P2-249
- 9) 荒金恵太・益子美由希・舟久保敏(2019), A Study on the Selection Method of Indicator Species for Biodiversity Monitoring in Urban Areas, 日本生態学会第66回全国大会(2019年3月、神戸) 講演要旨サイト
<http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/66/G01-10.html> : G01-10

2.3 雑誌・特集記事等

- 10) 飯塚康雄(2018), 街路樹の現況と維持管理における問題点, 樹木医学研究, 22(3) : 163-167
- 11) 飯塚康雄(2018), 街路樹の安全性と快適性の向上, 日本緑化工学会誌, 44(2) : 297-301
- 12) 飯塚康雄(2019), 街路樹の点検・診断, 樹木医学研究, 23(1) : 55-60
- 13) 山岸裕・畠瀬頼子・栗原正夫・舟久保敏(2018), 河川管理における外来植物の防除に向けた取り組み, 土木技術資料, 60(4) : 38-43
- 14) 山岸裕(2018), 文献紹介(国土技術政策総合研究所資料 No.972、No.1010、No.1014), 日本緑化工学会誌, 43(4) : 632-635

- 15) 西村亮彦・舟久保敏(2019), 地域づくりを支える伝統工法の継承に向けた保全・活用方策, 土木技術資料, 61(3) : 30-35
- 16) 荒金恵太・舟久保敏(2018), 防災公園に関するガイドラインの増補改訂ー熊本地震の教訓等を踏まえた管理運営面の内容の充実ー, ランドスケープ研究, 82(2) : 126-127
- 17) 塚本文他(2019), 市民緑地認定制度ーその意義と今後の展望ー, ランドスケープ研究, 82(4) : 346-349
- 18) 山岸裕(2019), 文献紹介 (国土技術政策総合研究所資料 No. 1036、No. 1050), 日本緑化工学会誌, 44(3) : 553-555
- 19) 荒金恵太・守谷修・舟久保敏(2019), 都市の防災性向上に向けた緑の基本計画の策定手法, 土木技術資料, 61(3) : 36-39